

WG3 進捗報告

第7回 NEA OSS 推進フォーラムへ

標準化及び認証の研究
NEA OSS 推進フォーラムのワーキング・グループ

無錫、中国、2008年10月31日

WG3 の役割

NEA OSS フォーラムは、オープンソースソフトウェア標準化及び認証を研究するために、2004年7月に「WG3:標準化及び認証研究」を組織した。

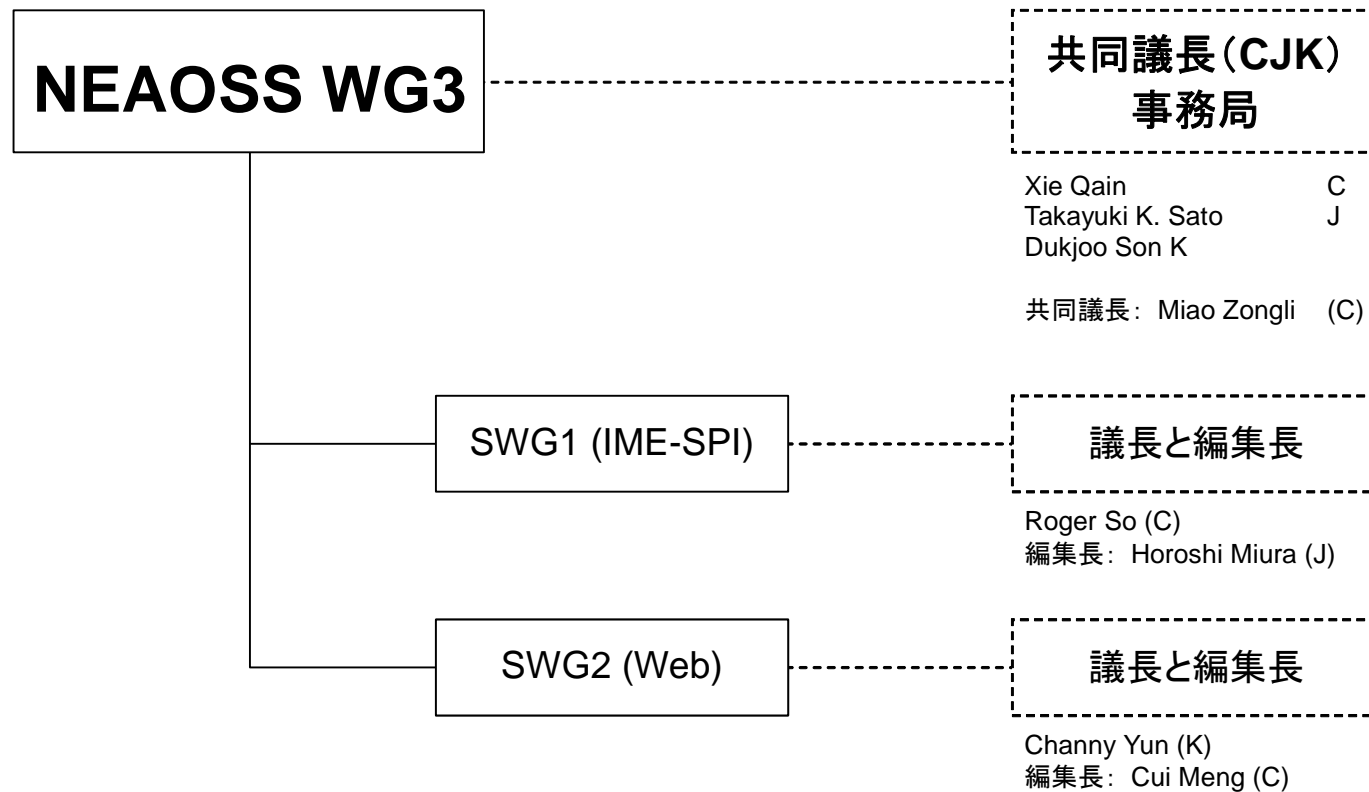
WG3 の任務

- (北東アジアのキャラクタ)入力方法エンジンのインターフェース標準の研究及び開発
 - 目的:世界のスクリプトに使用可能な IME サービス・プロバイダ・インターフェースを定めること
- Web コンテンツの相互運用性の研究
 - 目的:異なる Web ブラウザ間の Web の相互運用性を向上させること

WG3 プロジェクト

- 入力方法エンジンのサービス・プロバイダ・インターフェースに関する推奨事項 (WG3 WR00001)
- Web の相互運用性問題に関する技術報告 (WG3 TR00003)
- Web の相互運用性問題の解決法の技術報告 (WG3 TR00004)

WG3 の体制と担当者



注:すべての活動／意思決定は、NEA OSS WG3 の指令による

ソウルでの同意事項

- (1) WG3 は 2 回目のドラフト「IM エンジンのサービス・プロバイダ・インターフェースの仕様」を作成した。ベース設計の仕様の実行可能性は、IM-BUS プロジェクトで有効と確認された。WG3 は、2008 年中に仕様書を発行する。

(注：IM-BUS[1]プロジェクトは、入力方法コンポーネント用に共通コミュニケーション基盤を開発するための WG3/SWG1 プロジェクトから派生した OSS プロジェクトである。)

- (2) WG3 は、「Web の相互運用性問題に関する技術報告 (WG3 TR00003)」を作成した。WG3 は、この技術報告を 2007 年中に発行する。WG3 は、Web の相互運用性問題に対する可能な解決法 (WG3 TR00004) についても、上記の技術報告の発行時期とほぼ同じ頃に報告する。

[1] 入力方法－BUS

ソウル以降(無錫まで)の活動

- SWG1

- 2007-10:IME-SPI仕様ドラフト-3作成のための第1回SWG1ワークショップ
- 2007-11:IME-SPI仕様ドラフト-3作成のための第2回SWG1ワークショップ
- 2007-12:ドラフト-3に対する手紙による投票
- 2008-01:第13回SWG1ミーティング、手紙投票コメント処理ミーティング、ドラフト-3承認
- 2008-03:最終ドラフトに対するWG3手紙投票
- 2008-04:コメント付きで最終ドラフト承認
- 2008-07:最終テキスト配布

- SWG2

- 2007-09:WG3 TR00003(Webの問題報告)発行
- 2008-10:最終ドラフトWG3 TR00004(可能な解決法)承認

- WG3

- 2008-10:IME-SPI確認、最終ドラフトWG3 TR00004承認、将来計画同意

ソウル以降の達成事項

- 「入力方法エンジンのサービス・プロバイダ・インターフェースの仕様(WG3 WR00001)」完了
- 「Web の相互運用性問題に関する報告(WG3 TR00003)」発行
- 「Web の相互運用性問題の解決法(WG3 TR00004)」のドラフトが決着

無錫同意事項

- (1) WG3 は、「入力方法エンジンのサービス・プロバイダ・インターフェースの仕様 (WG3 WR00001)」を完了し、承認した。ベース設計の仕様の実行可能性は、IM-BUS プロジェクトにより有効性が認められた。WG3 は、2008 年中に、NEA OSS 推進フォーラムの Web ページでこの仕様を発行する。

注：IM-BUS[1]プロジェクトは、入力方法コンポーネント用に共通コミュニケーション基盤を開発するための WG3/SWG1 オープンソース・プロジェクトから派生した。

- (2) WG3 は「Web の相互運用性問題に関する報告 (WG3 TR00003)」を作成した。WG3 は、この技術報告を 2007 年中に発行した。WG3 は、「Web の相互運用性問題の解決法 (WG3 TR00004)」の最終ドラフトも作成し、2008 年にそれを承認した。WG3 は、2009 年中に、NEA OSS 推進フォーラムの Web ページでこの技術報告を発行する。

- (3) 将来の活動についてのタスクフォース検討を開始する

[1] 入力方法 BUS

無錫後の計画 (3つの方向)

IME-SPI 及び WG3 TR00004 を、世界中のコミュニティがその情報を利用可能とするために発行する。

結果の普及

- 世界的なセミナーなどに参加することで、結果を普及させる
- 世界へ向けての発行のための基礎的作業（洗練された英語など）

次の活動の調査

- WG3 の次のチャレンジについてタスクフォース・レベルの検討を開始する

ありがとうございました